

大野みどり 議員

## 避難所の長戸コミュニティセンターと旧長戸小学校体育館の今後について

議員 福祉避難所の長戸コミュニティセンターは、一部雨漏り、旧長戸小学校の体育館はトイレの機能が低下し、一部不具合が生じているとの事で、地域住民は大変不安を感じています。いざ、災害が起きた時の対応をお聞かせください。



▲災害時に備え避難所の準備を！

議員 長戸コミュニティセンターと旧長戸小学校の今後については何度も検討会をされていますが、今後の方向性をお聞かせください。

市民生活部長 令和3年度に校舎解体工事、令和5年度に新長戸コミュニティセンター建設工事を実施する予定です。

議員 地域の安心安全を考えて早急に取り組んでください。

議員 住民にとって避難所は一番重要です。住民が混乱しないよう、災害

◆L E D照明の取り組みについて

◆通学時の安全対策について

掲載以外の質問項目

金剛寺 博 議員

## 小・中学校での水泳授業の拡大を求める

議員 すでに小学校で5校、中学校2校で自校プールが使用出来なくなっており、学習指導要領の年間10時間の水泳授業を実施出来ない学校もあります。たつこのアリーナプールもこれ以上使用枠を広げられない、自校のプールも老朽

## 公園のトイレ等設備の充実を求める

議員 いたずら等の破損により、使用できないトイレが3カ所あります。対策や復旧は、また、森林公園のトイレが暗く、子どもが嫌がるとの意見があり改善を求めます。

都市整備部長 特定の公園でいたずらが繰り返されることがあり、状況をふまえて復旧、修繕を検討しています。森林公園のトイレはLED照明に交換、周辺の樹木の剪定等を実施します。

## 学童保育の充実と業務一部民間委託を問う

議員 学童保育は子育て、少子化対策、貧困化対策としても大切な事業です。国に拡充を要求し、支援員の処遇改善を図り、市が責任を負うべきと考えますが。

教育部長 国も待機児童対策を行っているが、自治体の問題解決に至っていない。安定的な事業継続のため業務の一部を民間委託したいと考えています。

加藤 勉 議員

## 龍ヶ崎市の人口問題について

議員 まち・ひと・しごと創生総合戦略が今年度で5か年の計画満了となりますが、計画では目標人口を78573人と定めています。この間の人口推移の認識について伺います。

市長公室長 本市の人口は、平成22年をピークに減少傾向に転じ、人口ビジョン策定時の平成27年との比較では約1600人減少しており、大変厳しい状況下にあります。特に出生数の減少や20代の転出超過が顕著なこと、さらに合計特殊出生率が国や茨城県と比べて低いこと等、様々な要因が考えられます。

議員 人口問題への取り組みでの成果や課題を伺います。

市長公室長 住宅取得補助金の交付、駅前こどもステーションの設置や医療費助成の高校生相当までの拡大など、様々な取組を重ね、目標人口の達成や合計特殊出生率の改善につなげたい。また、課題としては、人口ビジョンの将来人口推計と比較すると、5年を経過する前の早い段階で推計値を下回る結果となり、人口減少の大きな流れを緩やかなものにする事が出来ませんでした。

議員 人口問題対策課または室等の専任部署の設置が必要であり、組織体制の見直しを要望します。



▲人口問題対策の専任部署設置を！

掲載以外の質問項目

◆龍ヶ崎ニュータウン北竜台センター地区商業施設の現状と今後の情報提供について

山宮 留美子 議員

災害時備蓄用液体ミルクについて

議員 乳児用液体ミルクが本年3月より製造販売開始となり、防災、減災日本一を目指す龍ヶ崎市としては非導入を希望するが、市の対応を問う。

議員 当市の備蓄食料品は全てアレルギー対応の事。これは全国でも稀な事として、新聞にも掲載された。今後更に開発が進み、より安全で、安価で、アレルギー対応の長期保存ができる乳児用液体ミルクが販売された時には、いち早く導入して頂くことを強く要望する。

いじめ防止アプリ「ストップブイット」について

議員 今年の4月より始まったこのアプリは、自分がいじめを受けている時や、友だちがいじめられているのを目撃した場合、匿名で報告、相談ができるものだが、今までにどの様な相談があったか？

議員 このアプリがある事で、いつでも相談できるという安心感が大切だと思

教育部長 人との付き合い

札野 章俊 議員

風しんワクチン接種について

議員 風しんワクチンの接種に、国が補正予算を組んだ内容を教えてくださいます。健康づくり推進部長

これまで定期接種を受ける機会がなく、抗体保有率が他の世代に比べて低い世代に絞った上で、まずは抗体検査を受けられるよう、全国どこの病院で受けても原則無料としました。当市の対象者は、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性で、9615名と

ゆったり館を防災センターに

議員 湯ったり館のもう一つの顔として、いざというときのための避難所兼防災センターの役割を担わせるべきと考えます。

危機管理監 宿泊施設や入浴施設、調理施設、飲食施設、休憩施設などを



▲風疹ワクチン接種の周知徹底を

有していることから、防災拠点としての潜在能力が高く、市の防災拠点としてさらなる有効活用について、今年度、湯ったり館の災害時における利活用の検討を始めています。

久米原 孝子 議員

高齢者の移動手段の充実について

議員 乗り合いタクシーの今後の在り方をどのように考えますか。

議員 バスのルートに新たなに、きんさん館も目的地に設定する予定では、既存の地域公共交通との役割をすみわけした運行により、移動が円滑に行えるよう努めます。

議員 高齢者の移動手段の更なる充実のため、当市でも「行先はどこでも」といった取り組みが必要な時期がきています。年齢制限を設けたりして、行先を検討するべきではないですか。

市長 超長寿社会ということで、大先輩の方々が引き続き社会に参加し安心して生活を送れるような龍ヶ崎市にするため、足の確保は大変重要な課題と考えています。乗り合いタクシーの特性もありますので、ご理解いただ

掲載以外の質問項目

◆骨髄バンクドナー登録の推進について

◆消費生活センターについて

伊藤悦子 議員

## 建設費増になる

### 「道の駅」の中止を求める

議員 軟弱地盤が見つかり、必要となる護岸工事変更の内容とその工事費、建設費17億円は3年前のものであり今後の全体の建設費と市財政への影響はいかがか。

市長公室長 護岸工事は県河川課と協議し、自立式矢板工法で行います。建設単価の上昇、消費税率の引き上げ、上下水道工事等含まれておらず、護岸工事の修正設計の完了後全体的な見直しを行います。事業内容の変更によって財政に及ぼす影響は少なくないと考えます。

議員 もともと建設費の回収はできない。護岸工事の変更等で、経費が膨らむことは明らかであり財政に影響します。取手市の協同病院近くにイオンの出店が予定されており、道の駅の計画もあり、道の駅の計画もありません。規模からいって太刀打ちできないと考えます。改めて「道の駅」の中止を求めます。

## よりよい保育行政へ

議員 保育の形態が様々あり、市内どこの保育施設に入所しても同じサービスが受けられるよう、市の「保育の質ガイドライン」作成を求めます。

福祉部長 作成されている自治体での効果の検証と民間の保育施設の意見を伺うなど今後研究します。

油原信義 議員

## 牛久沼道の駅整備事業の凍結！

議員 道の駅整備事業では、年間利用客推計70万人・売り上げ推計7億8千万円のうち3億3千万円が農産物です。利用客がいるのか、負の遺産になってしまっているのか、直売所に安定的に野菜を並べることが出来るのかなどの市民の声もあります。柏市の道の駅のように前は、前面道路が県道8号船橋我孫子線の産業道路、手賀沼に隣接した立地環境が類似している。平成30年度利用客100万人、売上約6億円のうち直売所（農産物）4億5千万円、直売所は、農家が会社を立ち上げ、会員約70戸の農家で運営、農家が主体的に取り組み出荷体制を構築しています。また、手賀沼の整備された自然環境は、緑道での散策やサイクリング、水辺でのカヌー体験やバードウォッチング、キャンプ、体験農園と収穫体験等、手賀沼の観光化に向けたアグリビジネスパーク事業が進められている。牛久沼の道の駅整備事業については、牛久沼周辺に訪れる、憩える環境整備を最優先すべきです。また、直売所においても多品目の農産物が安定的に出荷できる農家の体制の構築が先決、道の駅は地域産業の活性化に繋がらなくてはならない。いずれも未整備の状況を踏まえれば、道の駅整備事業は凍結すべきと考えます。

市長公室長 牛久沼「感幸地」構想では、牛久沼を新しい名所とし、憩いの場とするため、水辺環境を最大限に活かした様々な取り組みを掲げています。本構想の内容をより実現化するため、北山創造研究所プロデュースの下、道の駅を基点とした周辺エリアの賑わいづくりを推進していきたくて考えています。

山村 尚 議員

## 高齢者の移動支援について

議員 移動・外出支援のニーズがますます必要とされる中、国が推し進める総合事業・訪問型サービスで移動支援を行うD型が示されました。当市では家事援助のA型のみの整備状況ですが、その理由を伺います。

健康づくり推進部長 A型支援、その担い手育成の必要性から導入を決めました。D型は、法的保護、運営方法、担い手不足等の諸問題で他市では敬遠されていますが、当市ではB型以

## 防犯灯電気料金の負担制度について

議員 現在、防犯灯電気料金の負担は、各自自治組織で行われており、一部地区では何年も防犯灯が存在しません。この状態をいかがお考えですか。

市民生活部長 当該地区は、防犯活動も活発な地区です。自治組織の再結成、防犯灯の必要について、再度の検討を要望します。



後藤 光秀 議員

### 子ども教育の拡充について

#### グローバル化でも話せない。

議員 グローバル化が進む中で当市の教育指導の方向性を伺います。英語教育の現状と課題は。

教育部長 令和2年4月から始まる新学習指導要領の全面実施を見据え、

国や県に先駆け外国語によるコミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。英語指導助手AETとの会話で、なかなか

か積極的になれない小中学生がいることも課題の一つです。

議員 つくば市や取手市ではインターナショナル

スクールがあります。小中一貫校を目指す当市において、先進事例を参考にインターナショナルスクール設置等についても調査研究を進めていただきたい。

### 高齢者サービスの拡充について

議員 ご高齢者の健康づくりや生きがいづくりの

スポーツとして、グラウンドゴルフ、ペタンク、輪投げ、ゲートボールなどがあります。グラウンドゴルフは公園など、ある程度の広場があれば楽しめるスポーツですが、専用のグラウンドゴルフ施設と、さらにパークゴルフ場の整備について見

健康づくり推進部長

グラウンドゴルフの専用ゴルフ場は、ふるさとふれあい公園のみですが、現在、市の施設でパークゴルフが利用できる施設はございません。競技人口の動向、他自治体の整備状況等の調査を踏まえ、民間施設の誘導等も視野に入れて研究してまいります。

大竹 昇 議員

### 電子商取引時代を迎えて

#### サプラ周辺の商業施設は

議員 1986年男女雇用機会均等法から33年経ちますが、四大卒女子の割合や合計特殊出生率、婚姻数、未婚率及び平均結婚年齢の推移について伺います。

産業経済部長 平成25年度の資料で四大卒は男性54%、女性45・6%が進学。

平成24年の合計特殊出生率1・21人、平成30年中、婚姻数264組で平成27年以降減少傾向にあります。

北竜台地域は高齢化率26%を超え、過当競争の中で再度HICの誘致は難しいと思います。

次に、A B街区ですが、

先ほどの説明で解かるように、働く女子のファッションは、益々忙しく、買い物に時間を費やしたり、ブランドを身に着けたりではなく、仕事や人間性に磨きをかけるというか、着心地のいいカジュアルファッションや、ファストファッションに移行していると思われる。サプラのゾーニングの見直しが必要と思われる。そこで、筑波都市整備

産業経済部長 (株)ケーヨーは、平成30年中期経営計画の中で、改善努力をしても

困難な11店を閉鎖決定。筑波都市整備(株)は、ホームセンターを中心に事業者と調整とのことでした。

議員 デベロッパが、

おHICと協議中というが

石引 礼穂 議員

### 「北海道×茨城県」プロジェクト

議員 昨年から、(株)日本ハムファイターズと筑波大学発ベンチャー企業の(株)ワイスポーツジャパンが主幹事である「北海道×茨城県プロジェクト」が始まっています。このプロジェクトの

趣意は、「茨城県南西地域でのスポーツを活用したエリアマネジメント、つまり

特定のエリアを単位に民間が主体となって、まちづくりや地域経営を積極的に行おうという取り組み」です。(株)日本ハムは、2004年に本拠地を北海道に移転して以来10市町とパートナー

(株)日本ハムと一緒にまちづくりや地域経営を積極的にを行い、成果を出していけば、将来的に、この龍ヶ崎市に(株)日本ハムのセカンドフラ

ンチャイズ、2軍の拠点となる場所を誘致するという

可能性もあるかもしれません。(株)日本ハムのセカンドフランチャイズに、流通経済大学のラグビー場、サッカー場、これらがJR佐貫駅から徒歩圏内であれば、現在計画中の道の駅、牛久沼トレイル、佐貫3号線、すべて連動することができ

協定を結び、スポーツに限らず、教育、食育、観光振興など幅広い分野で協力

しています。また当市には、スポーツに力を入れている流通経済大学があります。流通経済大学とも連携すれば、他市とはまた一味違う取り組みができる可能性があります。中山市長、お聞かせください。

市長 今後のこの取り組みの展開については、真剣に考えていきたいと考えております。

議員 このチャンスをしつかりものにして、市民がわくわく楽しく共感できるまちづくりをしていきましよう！

掲載以外の質問項目

◆儲かる農業について

# 一般質問

一般質問の記事は、議員本人が書いています

大野誠一郎 議員

## 「佐貫駅」を「龍ヶ崎市駅」とする

### 駅名改称の効果は？

**議員** 4億数千円円の費用をかけてまで、駅名改称事業をすることに由り、「龍ヶ崎市」の知名度アップ、交流人口の増大、更には定住人口の増加につながる効果があると説明されていますが、定住人口の増加ほどの程度見込まれているのですか。

**市長** 龍ヶ崎市の位置関係の雰囲気、この辺りに龍ヶ崎があるんだということをおわかっていただく、こういった効果はかなり大きいものがあると思いますので、定住促進につながるっていくのではないかと考えています。

**議員** 「影響度調査」は、駅名改称事業の「経済効果」を、専門業者に多大な金額を支払って、「1億6500万円の経済効果がある」と、結論づけたもの。「定住人口の増大」、「経済効果」についても、十分な検証と説明責任が必要で

**◆掲載以外の質問項目**  
**◆牛久沼活用支援について**  
**◆道の駅について**

後藤敦志 議員

## 小中学校に防犯カメラ等の設置を

**議員** 小中学校の防犯カメラ設置状況と、今後の防犯カメラ整備方針を教えてください。

**教育部長** 馴染小学校は校舎の改築時、城西中学校は校舎・体育館の大規模改修時に設置し、直近では城ノ内中学校に設置しています。今後は、長寿命化の改修や大規模改修などの機会を捉えて設置したいと考えています。

**議員** ICタグによる登下校管理の導入について、ご見解をお聞かせください。

**教育部長** 児童・生徒がちゃんと学校に行き、そして、学校を出たことが即座にわかる、保護者にとって安心できるシステムで、このICタグを所持していないものが校門を通過した際に警報がなる仕組みで、校門を通過する不審者対策としての効果が期待されることも伺っています。

**議員** 県内公立小中学校の7割、26市町村で防犯カメラの設置率が100%です。近隣では、取手、牛久、つくば、守谷、河内、利根は100%です。当市は17%で、県内44市町村中、下から6番目です。本当に安心・安全の確保で言えば、大規模改修時に設置するということではなく、100%を目指してすぐに取り組んでいただきたいと考えています。

椎塚俊裕 議員

## ひきこもり問題は

### 社会化することが重要

**議員** ひきこもり問題を家族問題の私的領域から社会で対応する公的な課題に引き上げていく議論が必要と思いますが、当市のご見解は。

**福祉部長** ひきこもりの長期化や高齢化の深刻さが増す中、この問題の対応は喫緊の課題で、竜ヶ崎保健所管内構成市町の関係課による担当者会議を定期的に開催し、障がい福祉、生活困窮者対策、青少年支援、保健センター、そして、教育委員会など様々な分野の担当者が出席し、ひきこもり対策に特化した情報共有などを行っています。

8050問題の直面する課題や、それぞれの関係機関が担うべき支援等について議論を深めます。

さらに、今後は関係機関と連携を図り、市民対象のひきこもりに関する講演会を開催するなど、

様々な機会に、ひきこもりを議論できるような場を提供していきたい。

**議員** ぜひこの問題、議論をできる場づくりに期待します。

親が生きているうちに行政の窓口、保健所の担当者、民生委員、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどと繋がっておくことが重要で、当市の8050問題の実態を正確に掴むこと、細やかな実態調査を積み重ね、中高年ひきこもり問題を社会化していくことが不可欠！



▲ひきこもり問題を議論する場